

# 株式会社日の出組

## 2025 年度 環境経営レポート

(対象期間 2024 年11月1日～2025 年10月31日)



発行日： 2025年11月1日

## 目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業や製品(商品)の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
環境への自社の取組	11



# 環境経営方針

## <環境経営理念>

我社は、『サステナビリティ（sustainability・持続可能性）』をキーワードとして、建設業を通して自然と環境を大切にすると共に、人にやさしく、心豊かにゆとりある暮らしの実現をめざして、自然と“共生”していくという考えに価値観を根本から変えていき、自然を愛する企業として社会貢献をします。

## <環境保全への行動指針>

- 1． 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2． 現場へ移動は主に、公共交通手段を考え、車で移動する際は、エコ運転を心掛け、各車両ごとの燃費を測定を行いCO2排出量の削減を図ります。
- 3． 事務所内にて使用する電気使用量を抑えるため、節電を心掛けCO2排出量の削減を図ります。
- 4． 一般廃棄物・産業廃棄物の削減のため、分別収集の徹底及び再資源化を図ります。
- 5． 水道使用量のデーターを取り、節水に取り組めます。
- 6． 事務所・現場の周囲の公共道路を定期的に清掃します。
- 7． 環境に配慮した製品をグリーン購入をします。
- 8． 建設現場で発生する廃木材等のリサイクルを推進します。



制定日：2008年10月10日

代表取締役 **東村 正剛**

## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社日の出組  
代表取締役 東村 正剛
- (2) 所在地  
本 社 大阪府大東市大野1丁目13番18号



- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 専務取締役 東村 光博 TEL : 072-872-1212  
担当者 工務部 大西 崇 TEL : 072-872-1212
- (4) 事業内容  
建築・土木・とび・土工・舗装及び水道施設工事  
大阪府知事 特一2 第4155号  
令和3年2月5日許可

- (5) 事業の規模

売上高	4.74 億円	
	本 社	合計
従業員 名	10 名	10
延べ床面積 m <sup>2</sup>	830 m <sup>2</sup>	830

- (6) 事業年度 11月 1日 ~ 10月 31日

## □認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： 株式会社日の出組  
対象事業所： 本 社  
対象外： なし  
活動： 建築・土木・とび・土工・舗装及び水道施設工事

## □事業や製品(商品)の紹介

年齢を重ねても安心な平屋の家！安心と快適を両立

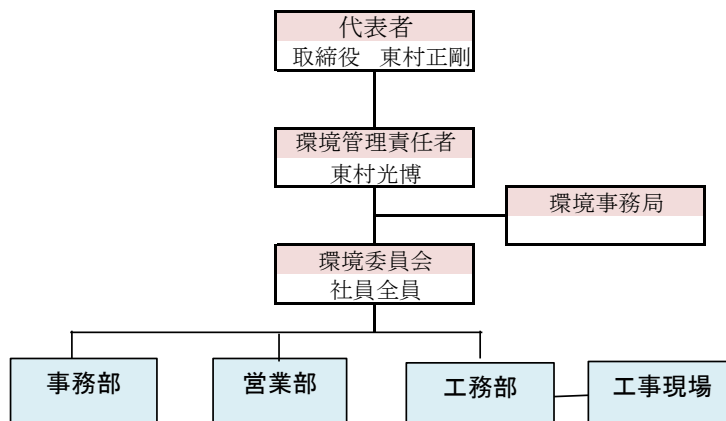
子育て真っ最中の家族のための眺望を叶えた平屋「ZEH 住宅」

和室を囲む、子育てしやすいGX志向型の家

# Beyond 130+th その先へ

施工事例

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、環境管理推進委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	26,986	26,944
廃棄物排出量			
一般廃棄物排出量	トン	0.480	0.473
産業廃棄物排出量	トン	87.56	111.50
水使用量	m <sup>3</sup>	215	511

※二酸化炭素排出係数 0.351 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力の2020年度調整後排出係数

※水使用量は建設現場使用量を含みます。

※事業活動において化学物質の使用はない。

※二酸化炭素総排出量には灯油・都市ガス使用に伴う二酸化炭素排出量を含む

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年：2024年度)	2025年度		評価	2026年度	2027年度
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減(事務所)	kg-CO <sub>2</sub>	5,502	5,447	5,534	×	5,392	5,337
	kg-CO <sub>2</sub> /売上高(百万円)	11.73	11.61	12		11.50	11.38
	基準年度比		99%	1	×	98%	97%
電力による二酸化炭素削減(建設現場)	kg-CO <sub>2</sub>	530	504	398	○	519	514
	kg-CO <sub>2</sub> /売上高(百万円)	1.13	1.07	1		1.11	1.10
	基準年度比		95%	1	○	98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	20,459	20,254	20,184	○	20,050	19,845
	kg-CO <sub>2</sub> /売上高(百万円)	43.6	43.2	42.6		42.8	42.3
	基準年度比		99%	98.7%	○	98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	26,491	26,205	26,116		25,442	25,182
一般廃棄物の削減	kg	480	475	473	○	470	466
	kg/売上高(百万円)	1.02	1.01	1.00		1.00	0.99
	基準年度比		99%	97.5%	○	98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	113,770	112,633	112,115	○	111,495	110,357
	kg/売上高(百万円)	242.58	240.16	236.53		237.73	235.30
	基準年度比		99%	97.5%	○	98%	97%
水使用量の削減(事務所)	m <sup>3</sup>	154	152	209	×	151	149
	m <sup>3</sup> /売上高(百万円)	0.328	0.325	0.441		0.322	0.319
	基準年度比		99%	136%	×	98%	97%
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

※基準年度比は売上高原単位での評価値として示す。

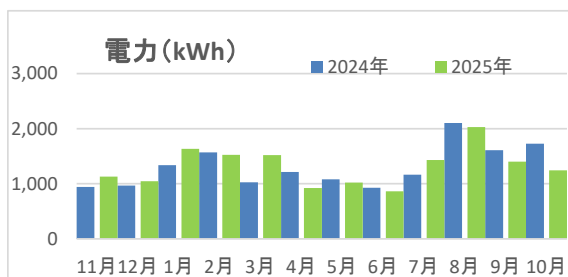
※水使用量は本社使用量のみの数値となっています。(建設現場使用量は含みません)

## □環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
<b>電力による二酸化炭素削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今年は、長期に寒い時期が多く暖房の使用時間が増え、暑い時期も長く増加傾向でしたが、基準年度と比較すると減少しており年間通しては、増加でした。 それは、現場が増え日中事務所での作業が出来ず、事務処理が17時以降の日が増えつつありますので、再度残業時間の短縮に心掛けます。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不要照明の消灯	○	
・クールビス運動・ウォームビズ運動	○	
・設備の空運転防止	○	
・節電運動	○	

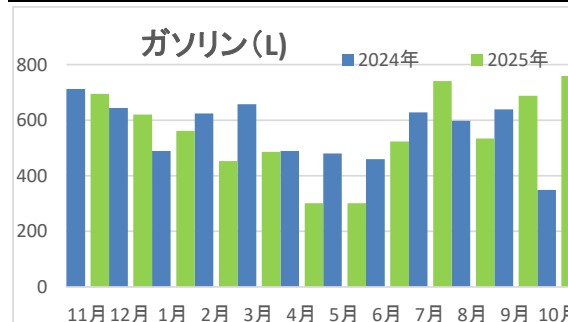


取組紹介欄 ■ 文字は増加 ■ 文字は減少（基準年度と今年年度）

集計結果  
 基準年度 15,675 kWh  
 今年年度 15,765 kWh  
 基準年度と今年年度 90 kWh増加 0.57%増加

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2024年	941	968	1,340	1,568	1,029	1,215	1,081	928	1,164	2,102	1,611	1,728
2025年	1,128	1,047	1,634	1,523	1,519	922	1,021	865	1,431	2,029	1,400	1,246

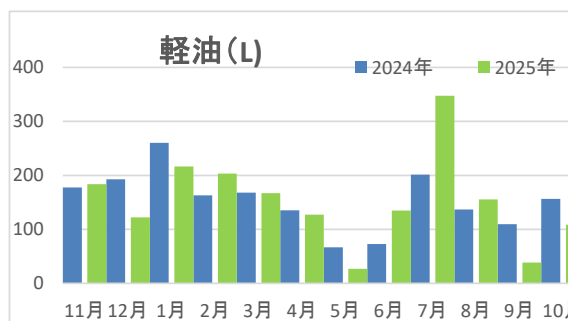
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	基準年度に比べて現場が近場が多く、遠方の現場でも現場事務所を設けることにより移動距離の削減ができた結果削減につながったと思われます。 今後も削減取組を継続致します。
・アイドリングストップ	○	
・急加速・急停車の防止	○	
・冷暖房の控えに使用	○	



取組紹介欄 ■ 文字は増加 ■ 文字は減少（基準年度と今年年度）

集計結果  
 基準年度 6,771L  
 今年年度 6,662L  
 基準年度と今年年度 109L削減 1.60%削減

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2024年	713	644	490	624	657	489	481	459	628	597	639	349
2025年	695	620	561	453	486	301	301	523	741	534	688	759

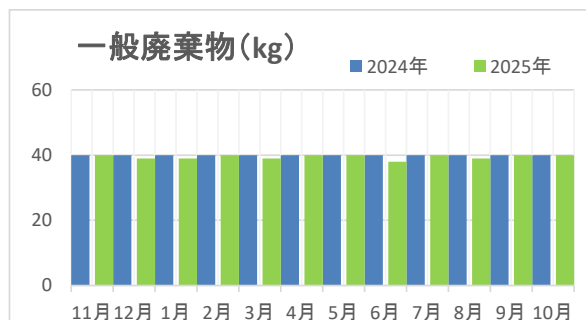


取組紹介欄 ■ 文字は増加 ■ 文字は減少（基準年度と今年年度）

集計結果  
 基準年度 1,841L  
 今年年度 1,832L  
 基準年度と今年年度 9L削減 0.50%削減

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2024年	178	193	261	163	168	135	67	73	202	137	110	157
2025年	184	122	217	203	167	127	27	135	348	156	39	108

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成出来ております。 ここ一度削減に努めます。
・一般廃棄物削減目標説明	○	
・裏紙を使用	○	
・ミスコピーの防止	○	

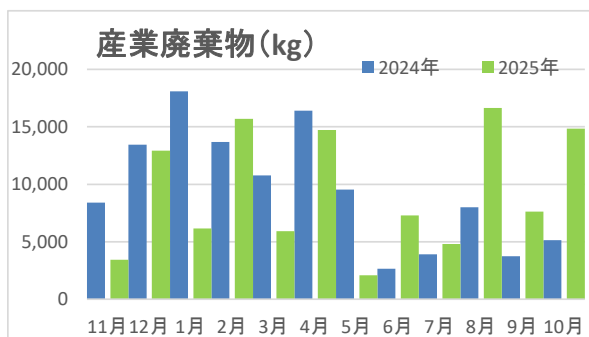


取組紹介欄 ■ 文字は増加 ■ 文字は減少 (基準年度と今年度)

集計結果  
 基準年度 480kg  
 今年度 474kg  
 基準年度と今年度 6kg削減 1.25%削減

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2024年	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
2025年	40	39	39	40	39	40	40	38	40	39	40	40

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	工事内容により変動しますが、特に3/4半期から物件数及び改修工事や新築工事が増加しましたが、年間通して基準年度と比べて削減が出来ております。 今後も削減取組を継続致します。
・ごみ分別の徹底	○	
・再利用化の検討	○	
・コンテナの目標台数を決めて行う。	○	

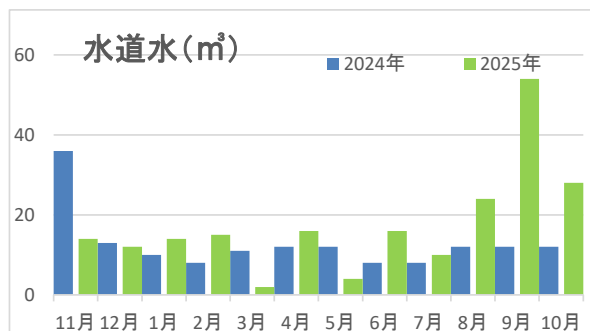


取組紹介欄 ■ 文字は増加 ■ 文字は減少 (基準年度と今年度)

集計結果  
 基準年度 113,770kg  
 今年度 112,115kg  
 基準年度と今年度 1,655kg削減 1.454%削減

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2024年	8,410	13,450	18,080	13,690	10,770	16,410	9,550	2,640	3,900	8,000	3,730	5,140
2025年	3,440	12,920	6,150	15,690	5,910	14,720	2,075	7,300	4,800	16,650	7,620	14,840

水使用量の削減(事務所)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	基準年度は初めに漏水が原因となり増加となっております。
・節水の呼びかけ	○	今年の、水道水は増加の月が多くなっております。 考えられるのは、感謝祭での使用及び、植栽への水やりを心掛けていた為、増加の原因かと思われます。
・社用車の洗車を必要最小限に努めます。	○	
・トイレに水流し音発生機を取付けるなど	○	



取組紹介欄 ■ 文字は増加 ■ 文字は減少 (基準年度と今期年度)

集計結果  
 基準年度 154m³  
 今期年度 209m³  
 基準年度と今期年度 55m³増加 35.71%増加

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2024年	36	13	10	8	11	12	12	8	8	12	12	12
2025年	14	12	14	15	2	16	4	16	10	24	54	28

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・有害性の少ない資材の購入	○	森林材認証プログラム商品を活用する等、事務用品の購入について配慮しており、今後も続けていきます。
・コピー用紙等を環境に配慮した製品の購	○	
・空調機器の入替時は、省エネ機器の購入	○	
・ペーパーレス化に対応するモバイル機器の導入	△	

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・廃木材のリサイクル (チップボード原料への利	○	廃木材のリサイクル (チップボード原料) に努めています。省エネルギー住宅事業を推進し、住宅事業全体の省エネ及びゼロカーボンを準備していきます。年度内に新たな住宅事業主体を作り、今後を活用してまいります。
・トイレの便器を節水型の推進	○	
・サッシガラスを環境に配慮した製品を推進	○	
・フラット35S環境に配慮した建物を推進	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項 (施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	産業廃棄物 (廃プラ、廃蛍光灯)、一般廃棄物
自動車NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	特定建設作業
振動規制法	特定建設作業
建築物省エネ法	特定建築物の建築物エネルギー消費性能基準の適合義務・確保計画の適合判定
労働安全衛生法	SDS義務のリスク評価
グリーン購入法	事務用品等の購入品
消防法 (危険物)	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。  
 なお、関係当局より違反等の指摘、訴訟は、過去3年間ありません。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

① 環境活動の取り組み結果の評価

本年度は、2025年4月の建築基準法改正(省エネ基準適合義務化・4号特例縮小等)により、新築工事の確認申請手続きが遅延したほか、物価高騰による資材価格の上昇、人手不足の影響が重なり、完工高が低調に推移しました。年度後半に確認申請が順次進んだことで新築工事が本格的に着手できるようになりました。

2023年10月から開始したアイフルホームのモデルハウス・ショールームの運用が2年目を迎え、太陽光設備・節水・節電型設備の導入により、営業所の増加にもかかわらず電気・水道使用量はほぼ横ばいを維持できています。

また、昨年度から本格化した建設業の時間外労働上限規制(2024年4月施行)により、社員の効率化意識が向上し、残業時間の短縮が進むなど、働き方改革が着実に進展していると評価しています。

② 実績の評価

電力消費量については、本年度は新築工事における弊社負担の電気使用量が少なく、改修工事等で施主負担となる現場が多かったため、全体として削減を達成できました。事務所の電力消費量についても、モデルハウス・ショールームの本格活用を考慮すると、順調に削減が進んでいると考えます。

自動車燃料消費量については、ガソリン車台数の増加があったものの、年間を通じて比較的近隣の現場が多く、結果として減少となりました。今後も燃費記録の徹底やエコドライブ意識のさらなる向上に努めていきます。

産業廃棄物については、現場ごとの状況差が大きく、単純比較が困難です。そのため、分別徹底、数値管理の意識向上、現場の見える化を継続的に行うことが、廃棄物量の適切な管理に不可欠であると考えます。

また、作業所においては、安全衛生協議会を通じた協力業者への教育活動を定期的実施し、環境意識の変革を進めていくことが重要です。

③ 今後の目標

アイフルホーム事業の本格運用から2年が経過し、受注件数が徐々に増加傾向にあります。新築住宅部門のさらなる強化を図るとともに、社員育成にも注力してまいります。

モデルハウスの太陽光パネルによる発電は昨年2月から開始しており、売電量も今後資料に反映していきます。

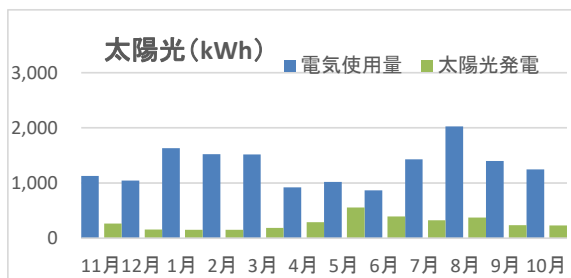
エコアクション活動を全社員の意識向上・共有の機会とし、PDCAサイクルを活用しながら目標達成に向けた行動を全員で推進してまいります。

これまでの取り組みにより、来年度はアイフルホーム事業の受注件数増加が見込まれます。長期優良住宅やZEHを標準仕様とした環境配慮型の建物として、設計・施工を進め、太陽光発電等を積極的に取り入れ、自己完結型の住宅をお客様にご提案していきたいと考えています。

【前回の指示への取組結果】	
<情報>	<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等)	◇環境経営方針 現状通り
◇環境経営目標・計画の達成状況	◇環境経営目標・環境経営計画 実績に踏まえて見直す
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 ・環境上の問題点等	◇実施体制他 現状通り

□環境への自社の取組

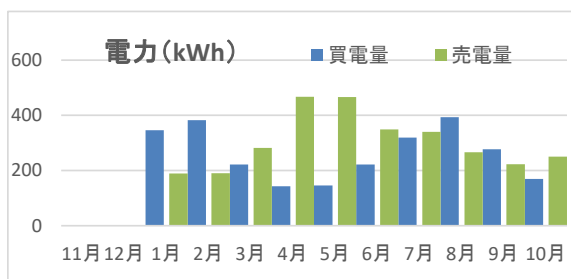
令和5年よりモデルハウスに太陽光発電システムを導入しており、売電している太陽光発電量と事務所とモデルハウスで使用する電力使用量をスマートメーターによる測定を行い、今後の糧となるデータを把握しております。モデルハウス見学者様に太陽光発電システム導入メリット等の説明に尽力しています。



取組紹介欄

電気使用量 15,765kWh 664,466円 (建設現場を含む)  
 太陽光発電 3,329kWh 53,264円

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
電気使用量	1,128	1,047	1,634	1,523	1,519	922	1,021	865	1,431	2,029	1,400	1,246
太陽光発電	268	159	153	152	185	291	557	394	327	374	237	232



取組紹介欄

モデルハウスにおけるスマートメーターによる測定結果による買電量と太陽光発電による売電量の比較

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
買電量	0	0	346.00	383.00	222.00	143.00	146.00	222.00	319.00	393.00	277.00	170.00
売電量	0	0	189.00	190.00	282.00	467.00	466.00	349.00	340.00	266.00	223.00	250.00